

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則により実施する。
2. 場内司令について
特に認めた監督・コーチ・報道・選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。また、競技者の本部前の通行は厳禁とする。
3. 練習について
投てき練習は、競技開始前に、フィールド内で主任審判の指示により行なう。
4. 招集について
 - ①トラック種目の招集場所は第4ゲート(100mスタート)観客スタンド下に設置する。
フィールド競技は現地集合とする。
ただし、投擲は第2ゲート付近器具庫前、跳躍は第3ゲート付近器具庫前に集合すること。
招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表の通りとする。
 - ②選手は、招集開始時刻に集合し、競技者係及び競技役員より点呼を受け、ナンバーカードの点検・確認を受けること。
 - ③招集時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。
 - ④代理人による招集は一切認めない。
5. 補助競技場への入退場は、すべて係員の指示に従うこと。
6. ウォーミングアップ場所について
 - ①補助競技場及び雨天練習場とする。競技場外では通行人や他の競技に迷惑をかけないようにすること。ただし、補助競技場で競技実施中は係員の指示に従うこと。
 - ②両日とも競技開始30分前までは競技場内（トラックのみ）の使用を認める。
7. ナンバーカードは、ユニホームの胸と背に確実に付ける。
8. 試技順について
試技順はプログラム記載の順とする。
9. 応援について
応援については必ずスタンドから行うこと。
10. チーム（学校）控え場所の清掃は、監督・顧問・キャプテンの指示により確実に行なう。

競技場にはゴミ箱は設置していません。各チーム（学校）で出したゴミは、確実に持ち帰る。また、使用した場所は必ず清掃する。

以上については監督・顧問・キャプテンは、チームに徹底させる。
11. 個人情報の取り扱いについて
本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しません。
12. その他
応急処置を要する場合、及びその他健康上の問題が生じた場合は競技役員に申し出て救護室を利用することができる。
競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。